

令和7年度 ハローワークマッチング機能の総合評価に係る主要指標進捗状況

主要指標	労働局 (計)	千葉	市川	銚子	館山	木更津	佐原	茂原	松戸	船橋	成田	千葉南
A 就職件数（一般計） ※ 令和7年度目標値	33,082	5,063	2,257	1,616	1,442	2,110	754	1,849	6,932	4,745	2,587	3,727
B 実績値（令和7年8月）	2,283	337	158	105	72	153	71	158	509	309	159	252
C 実績（年度計）	13,164	1,969	863	627	522	861	388	769	2,766	1,884	959	1,556
進捗割合(%)（対目標値）(C/A)	39.8%	38.9%	38.2%	38.8%	36.2%	40.8%	51.5%	41.6%	39.9%	39.7%	37.1%	41.7%
D 求人充足数（一般計） ※ 令和7年度目標値	27,736	6,340	1,723	1,063	1,351	1,806	632	1,370	4,959	3,294	2,497	2,701
E 実績値（令和7年8月）	1,961	466	109	90	68	124	66	129	370	234	130	175
F 実績（年度計）	11,373	2,615	709	466	470	749	321	633	2,049	1,389	908	1,064
進捗割合(%)（対目標値）(F/D)	41.0%	41.2%	41.1%	43.8%	34.8%	41.5%	50.8%	46.2%	41.3%	42.2%	36.4%	39.4%
G 雇用保険受給者の早期再就職割合 ※ 令和7年度目標値	33.2%	33.2%	33.2%	33.2%	33.2%	33.2%	33.2%	33.2%	33.2%	33.2%	33.2%	33.2%
H 実績値（令和7年7月）	35.8%	39.6%	39.0%	35.8%	24.7%	27.6%	47.9%	33.1%	37.1%	30.9%	37.9%	38.3%
I 実績（年度計）	31.3%	33.9%	32.3%	28.3%	27.3%	32.1%	29.2%	23.7%	30.9%	31.2%	31.0%	31.2%
進捗状況(p)（対目安値）(I-G)	-1.9p	0.7p	-0.9p	-4.9p	-5.9p	-1.1p	-4.0p	-9.5p	-2.3p	-2.0p	-2.2p	-2.0p

※1：県内ハローワークの紹介により就職した数（パートタイム、臨時・季節的雇用を含む）。

※2：県内ハローワークにおいて受理した求人に対して、就職が確認された件数（パートタイム、臨時・季節的雇用を含む。）。

※3：雇用保険受給者が所定給付日数を3分の2以上を残して就職し（自己就職者等を含む）、雇用保険被保険者資格取得届が提出された割合。

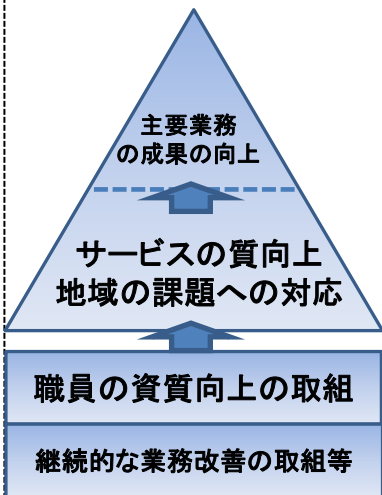
※4：雇用保険受給者の早期再就職件数の実績値については、当該月分を翌々月に公表。

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組（概要）

ハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善を一体的に実施。

PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- 現行の取組（就職率等を指標にしたPDCAサイクルによる目標管理）を拡充し、業務の質の指標を追加。
- 地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する指標を追加。
- 中長期的な就職支援の強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進。



短期的な成果の向上だけでなく
中長期的な業務の質向上・業務改善を図り
就職支援を強化

ハローワークのマッチング機能 の総合評価・利用者への公表

- 業務の成果や目標達成状況等を定期的に公表
→ 主要指標の実績を毎月、総合評価を年度終了後に公表
- 業務の成果や質、職員の資質向上・業務改善の取組等の実施状況をもとにハローワークの総合評価を実施。
→ 労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークをグループに分け、その中で比較し評価
- ハローワークごとに実績・総合評価及び業務改善の取組等をまとめ、労働局が公表。



重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表

- 労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

評価結果等に基づく 全国的な業務改善

- 評価結果等をもとに本省・労働局による重点指導や好事例の全国展開等を実施。

① 評価結果等をもとに労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導

② 改善計画を作成、本省・労働局が重点指導（評価期間終了後）

③ 好事例は全国展開（評価期間終了後）

労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催

ハローワークのマッチング機能の総合評価は、全ハローワークで共通する指標による評価と、ハローワークごとに地域の特性等を踏まえ重点的に取り組む業務や継続的な業務改善等に関する評価を総合的に勘案して実施。

総合評価を実施

※所重点指標は、ハローワークごとに、評価対象とする業務・取組を選択

全ハローワークで共通する評価 (全所必須指標)

(1) 主要指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち特に中核業務の成果を測定する指標に基づく評価

- 就職件数
- 求人充足件数
- 雇用保険受給者の早期再就職割合

(2) 補助指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する指標に基づく評価

- 満足度調査(求人者)
- 満足度調査(求職者)

ハローワークごとの重点的な取組の評価 (所重点指標・所重点項目)

(1) 所重点指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する重要業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点として取り組む業務に関する指標に基づく評価

- 人材不足分野の就職件数
- 障害者の就職件数
- ミドルシニア不安定就労者の正社員就職者件数
- 生活保護受給者等の就職割合
- マザーズハローワーク重点支援者の就職率 など

(2) 所重点項目に対する評価

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上の取組や継続的な業務改善の取組等の実施状況の評価

- オンライン登録者のハローワーク利用登録切替数
- 求人者マイページのオンライン利用率 など